年度末報告書 (実行団体)

● 提 出 日 : 2022年 3 月 31 日

● 事 業 名 : I♡新小校区福祉プロジェクト

● 資金分配団体 : 一般財団法人大阪府地域支援人権金融公社

● 実 行 団 体 : 一般社団法人富田林市人権協議会

● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成(通常枠での追加助成)の有無 : ☑有 □無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗
					状況
					*
集いの場、居場所づくり(各町会	①集いの場の設置数	①設置 16 か所	2023 年 2	①コロナ感染により進	3
集会所)	②集いの場への参加	②参加者 500 人	月	展していない。	
	人数			②校区全体対象のスタ	
				ンプラリーを実施し、6	
				か所でのべ 866 人が参	
				加した	
誰もが参加できやりがいの持て	①ボランティアの登	①登録者 50 人	2023 年 2	①登録者33人	2
る有償ボランティアシステムを	録者数	②学習会開催6回	月	②学習会開催5回	
つくる	②ボランティア登録	③協力企業数5社		③協力企業数3社	
	者に対する学習会開				

	催数③ボランティアシステムに協力する企業の数				
こどもの学習支援と居場所づく り	①小学生に対する学習会支援活動開催数 ②学習会への参加人数	①開催数 100 回 ②参加人数 20 人	2023 年 2月	①3月16日にボランティアオリエンテーションを実施し、4月28日から開催予定 ②0人	3
新型コロナウィルス感染拡大下での事業展開	めの町別地域研修の開催	②会館のある町会すべてでの WiFi 環境等整備 ③リモートを活用した集い 16 回	① ~ ③ 2023 年 2 月 ④2021 年 6月	①3回 ②研修を実施しながら 各町会と協議中 ③0回(5月に予定) ④6月27日に開催。の べ866名の参加があっ た。	3

*進捗状況:1計画より進んでいる、2計画どおり進んでいる、3計画より遅れている、4その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み

2.概ね達成の見込み

2.アウトカムの状況

A:変更項目

☑変更なし □短期アウトカムの内容 □短期アウトカムの表現 □短期アウトカムの指標 □アウトカムの目標値

3. 活動に関する報告

1. 実行委員会の立ち上げと事業の始動

休眠助成採択を受けて、2020 年 7 月 1 日 「I♥新小校区福祉プロジェクト実行委員会」を立ち上げた。メンバーは富田林市人権協議会、新堂診療所、富田林市社会福祉協議会、民生児童委員新堂小校区委員会で、実行委員長は、民生児童委員新堂小校区委員会の川喜田委員長が就任し、事業を始動した。

2. 協力団体への依頼と連携

実行員会ではまず事業目標、事業計画を確認して、事業を紹介するチラシを作成し、校区内各町会に事業説明を行った。また、校区内の他の団体、町会、施設、学校園、スーパー・商店にも協力を依頼した。

3 住民アンケートの実施等による地域ニーズの把握

実行委員会は、福祉に対する住民のニーズを直接把握するため、町会の協力を得て校区内全世帯を対象に住民アンケート調査を実施した。アンケート回収には、各町会の協力をはじめ、校区内のスーパーや商店にも回収箱を設置し、588 通を回収した。アンケートの分析の結果、地域・年齢層によるニーズの違い、ボランティア参加の意欲、住民同士の付き合いの濃淡、こどものおかれている状況、校区に対する肯定的評価などを把握することができた。また、新堂小学校生徒 $1\sim5$ 年生のアンケートも行い、こどものニーズも把握した。

4. コロナ禍による事業の停滞

しかし、2020 年後半から 2021 年前半にかけてコロナ感染の拡大により活動が停滞していった。特に、各町会での集いの場づくりについては、町会活動がほとんどできなくなり、集会所等も使えなくなったため、人の集まる催しはできなくなった。

5. スタンプラリーの実施

これに対し、密にならず安全に多くの人が参加できる催しとして、スタンプラリーの開催が提案された。実行委員会・協力団体による準備を進め、校区内に広く周知し、2021 年 6 月 27 日のべ 833 人が参加して成功した。幅広い世代が参加し、皆が楽しめる催しとして評判もよく、感想では、コロナ下でも開催できる催しとして、定着させたいという意見が多かった。

6. ICT の活用と普及

一方、休眠助成のコロナ枠を活用して機器をそろえ、ICTを活用して、コロナ下でも地域活動ができるツールとスキルを養うため、校区内の各町会や団体を対象に講習を実施した。ソフトの普及率や操作のしやすさを考慮し、LINE 講座に特化した。町会ではこれを活用しワクチンの予約等に利用できた。

7. ようやく地域ボランティアシステムが始動

ボランティアシステムづくりも停滞していたが、2021 年 10 月に全体説明会を実施し、2022 年 3 月にテーマ別オリエンテーションを 4 回実施した。結果、33 名がボランティア登録を行った(2022.3.30 現在)。校区内スーパー・商店の協力を得たポイントシステムは 4 月から 実施する。

8. 校区交流会議等、富田林市の福祉政策と連携し持続可能な福祉プロジェクトの展開

この間、プロジェクトは富田林市の校区交流会議と連携しながら進め、相互に協力を行ってきた。プロジェクトの取り組みは、富田林市 の福祉広報等に取り上げられ、今後福祉プロジェクトを引き継いでいける展望が出てきた。

9. 成果と課題

<成果>

- ・地域連携が確実に進展している 町会や小学校・幼保育園、商店・スーパーなど、あまり詳しく説明しなくてもプロジェクトの活動には快く協力してくれるようになった。
- ・地域福祉を担う主体が少しずつ膨らんできている ボランティア登録が進み、これまで登場してこなかった住民がプロジェクトにかかわってくれるようになった
- ・地域の新たな課題が発見できるようになってきた

アンケートやディスカッションを通じて、地域の実態がより明らかになり、想定していなかった課題が浮かび上がり、活動の幅が広がった。

<課題>

・コロナによる全体の遅れ

少し収まってはまた感染が拡大するという繰り返しの中で、なかなか計画が立てられず、事業の遅れを取り戻せない。

・既存団体だけに頼らない幅広い層との連携

町会等の既存団体はコロナで行政が自粛すると動きにくくなる。そのなかでも、NPO等の民間団体は比較的自由に活動できており、そのような団体との連携も重要になっている。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

密にならず、野外で開催でき、体を動かせるイベントとして校区内のスタンプラリーを実施した。また、リモートを活用したコミュニケーションを図るためにラインのアカウント登録を実施し、各町会でのライン講習会を進めている。

② 広報に関する報告

- 1. シンボルマークの使用状況
 - **☑**自団体のウェブサイトで表示している **☑**広報制作物に表示している
 - ☑報告書に表示している ☑イベント実施時に表示している □その他
 - →「その他」を選択した場合は記載してください(自由記述):

2. 広報

1.メディア掲載(TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)

ほんわか新聞 令和4年3月号(富田林市高齢介護課発行:スタンプラリーの紹介)富田林市内全戸配布 「安心きづき隊」地域の耳寄り情報(富田林市介護保険事業第2層協議体発行)第1圏域高齢者世帯配布

2.広報制作物等

プロジェクトのホームページ https://i-love-shinsyoukouku.jimdofree.com/

LINE 公式アカウント作成 登録者 71 名

アンケート回収ボックス 50個作成し校区内公共施設、スーパーマーケット、学校・幼稚園・保育園に設置

プロジェクト周知のぼり30本作製 スタンプラリーでスタンプポイント6か所に掲揚 その後は一部を町会集会所・小学校等に掲揚プロジェクト周知チラシ校区内 5500枚配布、

住民アンケート校区内 4256 通配布 582 通回収、

スタンプラリーチラシ校区内 5500 枚配布

プロジェクトスタッフ用缶バッジ制作 60個

新堂小学校生徒アンケート 270 人実施

ボランティア全体説明会チラシ校区内 5500 枚配布

プロジェクト中間報告及び課題別ボランティアオリエンテーションチラシ 校区内 5500 枚配布

わくわくボランティアカード作成 100枚(ボランティア登録者に配布)

3.報告書等

新堂小学校区の元気・参加・未来のためのアンケート集計結果(概要版)300部作製 各町会役員会で報告

新小校区まち歩きスタンプラリー結果報告 100 部作製 校区内町会、地区民生委員会、社会福祉協議会、行政関係課に配布・説明 I♡新小校区福祉プロジェクト小学生アンケート集計結果報告(新堂小学校に配布)

Ⅰ♥新小校区福祉プロジェクト中間報告(再掲)校区内市広報誌折込等 5500 枚配布

4.イベント開催等(シンポジウム、フォーラム等)

実行委員会 2020年7月1日~2022年3月18日 19回開催

10/29 地域ボランティア全体説明会 20 名参加

2022 年 3/11 こども食堂ボランティアオリエンテーション 13 名参加

3/16 こども学習支援ボランティアオリエンテーション 12 名参加

3/23 高齢者配食ボランティアオリエンテーション 11 名参加

3/30 通学見守りボランティアオリエンテーション 14 名参加

④規程類の整備に関する報告

1.	事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。		
	☑ 完了 □整備中		
2.	整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。		
	☑全て公開した □一部未公開 □未公開		
	→「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日:		
3.	変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。		
	☑はい □いいえ		
	→「いいえ」を選択した場合の理由:		
⑤ガ/	iバナンス・コンプライアンスに関する報告		
	がバナンス・コンプライアンスに関する報告 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。		
1.			
1.	社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。		
1.	社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。 図はい 口いいえ		
1.	社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。 ☑はい □いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由:		
1.	社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。 ☑はい □いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由: 内部通報制度は整備されていますか。	□外部に窓口を設置	□ JANPIA の窓口を利用
1.	社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。 ☑はい □いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由: 内部通報制度は整備されていますか。 ☑はい □いいえ	□外部に窓口を設置	□ JANPIA の窓口を利用
2.	社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。 ☑はい □いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由: 内部通報制度は整備されていますか。 ☑はい □いいえ	□外部に窓口を設置	□ JANPIA の窓口を利用
2.	社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。 ☑はい □いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由: 内部通報制度は整備されていますか。 ☑はい □いいえ →「はい」の場合の設置方法(複数選択可): ☑内部に窓口を設置	□外部に窓口を設置	□ JANPIA の窓口を利用
2.	社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。 ☑はい □いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由: 内部通報制度は整備されていますか。 ☑はい □いいえ →「はい」の場合の設置方法(複数選択可): ☑内部に窓口を設置 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	□外部に窓口を設置	□ JANPIA の窓口を利用

☑ はい □いいえ	
→「いいえ」を選択した場合の理由:	

- 5. コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
 - ☑はい □いいえ
 - →「いいえ」を選択した場合の理由:
- 6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。(実施済みの場合含む)
 - ☑内部監査を実施 □外部監査を実施 □実施する予定がない
 - →「実施する予定がない」を選択した場合の理由:

添付資料

活動の写真(画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度) 別添